

1. 科目名 (単位数)	音楽科指導法 (2 単位)	3. 科目番号	SJMP2294 EDEL2315
2. 授業担当教員	本野 洋子	5. 開講学期	秋期
4. 授業形態	講義、演習 (全員、個人、グループ)		
6. 履修条件・他科目との関係	「音楽」関連科目を履修済であること。		
7. 講義概要	<p>本講義では、小学校教育における音楽科の役割、目標、指導内容、児童の音楽的発達について理解し、初等教育に従事する教育者として必要な指導法の基礎を身に付ける。</p> <p>具体的には、まず学習指導要領に記載されている音楽科の目標について理解する。次に、小学校音楽科の指導内容 (表現 [歌唱・器楽・音楽作り]・鑑賞指導の意義・留意点、共通事項) について理解する。それまでの学修内容を踏まえ、学習指導計画の意義、構成、内容の取扱い、音楽科の評価について理解し、指導案作成を行う。作成した学習指導案をもとに模擬授業を実施し実践感覚を高めるとともに、その振り返りを通して授業改善の視点を身に付ける。</p>		
8. 学習目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 初等教育における音楽科の役割、目標を理解する。 2. 初等音楽科の指導内容と指導上の留意点を理解し、それぞれの領域の指導法を身に付ける。 3. 音楽の基礎的知識・技能を身に付け、教材研究を行うことができるようになる。 4. 児童の音楽的発達段階について理解する。 5. 情報機器及び教材を音楽科の授業において効果的に活用することができるようになる。 6. 学習指導計画の意義、構成、内容の取扱い、音楽科の評価について理解する。 7. 実践的な学習指導案を作成することができるようになる。 8. 模擬授業を通して授業実践の感覚を養うとともに、その振り返りを通して授業改善の視点を身に付ける。 		
9. アサシメント (宿題) 及びレポート課題	<ol style="list-style-type: none"> 1. 歌唱共通教材及び鑑賞教材の教材研究を行い、それをもとに模擬授業を実施する。 2. 学習指導案を作成して、提出する。 		
10. 教科書・参考書・教材	<p>【教科書】 1 年次に履修した音楽系科目で使用した教科書を継続使用する。</p> <p>【参考書】 河口道朗 編著『音楽教育入門 ― 基本理念の構築』音楽之友社 文部科学省『小学校学習指導要領』東京書籍。 山下薫子編著『平成 29 年度版 小学校新学習指導要領 ポイント総整理』東洋館出版社 ※ソプラノリコーダーを使用する場合があります。</p>		
11. 成績評価の規準と評定の方法	<p>○成績評価の規準</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 初等教育における音楽科の役割、目標を理解している。 2. 初等音楽科の指導内容と指導上の留意点を理解し、それぞれの領域の指導法を身に付けている。 3. 音楽の基礎的知識・技能を身に付け、教材研究を行うことができる。 4. 児童の音楽的発達段階について理解している。 5. 情報機器及び教材を音楽科の授業において効果的に活用することができる。 6. 学習指導計画の意義、構成、内容の取扱い、音楽科の評価について理解している。 7. 実践的な学習指導案を作成することができる。 8. 模擬授業を通して授業実践の感覚を養い、その振り返りを通して授業改善の視点を身に付けている。 <p>○評定の方法</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学習指導案の内容 20% ・模擬授業の内容 30% ・授業への積極的参加度 20% ・学期末試験 30% 		
12. 受講生へのメッセージ	日常生活において身の回りの音や音楽によく耳を傾けていきましょう。模擬授業前は、指導要領をよく読み、十分な準備期間を充て、模擬授業後は、自分自身の授業を振り返り、良い点・改善点などをまとめておきましょう。		
13. オフィスアワー	授業時に周知。		
14. 授業展開及び授業内容			
講義日程	授業内容	学習課題	
第 1 回	授業ガイダンス：授業概要、授業目標・具体的内容・方法・評価等の理解。	事前学習	これまで音楽授業で学んだ曲を復習する。
		事後学習	音楽科授業の目標、具体的内容について理解する。
第 2 回	学習指導要領の目標、教科書の内容構成、模擬授業の具体的方法と教材について。グループ活動の班分け。	事前学習	教科書の該当箇所を読んでおく。
		事後学習	学習指導要領、教科書の内容構成について理解する。
第 3 回	表現領域 [歌唱]：歌唱教材の取り扱いについて理解し、歌唱教材を用いて歌唱活動を実施。歌唱授業の在り方・展開方法を考える。	事前学習	教科書の該当箇所を読んでおく。
		事後学習	授業で扱った歌唱教材を歌えるようにする。
第 4 回	表現領域 [器楽]：器楽教材の取り扱いについて理解。特にソプラノリコーダーの指導における留意点について理解する。器楽授業の在り方・展開方法を考える。	事前学習	教科書の該当箇所を読んでおく。
		事後学習	リコーダーの取扱い、奏法、指導法について理解する。
第 5 回	表現領域 [音楽づくり]：音楽づくり活動を実施し、音楽づくり授業の在り方・展開方法を考える。	事前学習	教科書の該当箇所を読んでおく。
		事後学習	音楽づくりの在り方、展開方法について理解する。
第 6 回	鑑賞：鑑賞教材を用いて鑑賞を実施し、鑑賞授業の在り方・展開方法を考える。また ICT 機器を活用した活動を行い指導方法・指導案を考える。	事前学習	教科書の該当箇所を読んでおく。
		事後学習	鑑賞指導の在り方と展開方法について理解する。
第 7 回	学習指導案の構成、展開について。グループ	事前学習	模擬授業で扱う曲(歌唱・器楽活動)について教材研究をす

	ブ活動①〔歌唱・器楽活動〕:歌唱活動並びにソプラノリコーダーを用いた器楽合奏を通して、子どもの実態に沿った指導案について考える。	事後学習	る。 歌唱活動、器楽合奏の指導法について理解する。
第8回	学習指導案の構成、展開について。グループ活動②〔音楽づくり〕:音楽づくりを実際に経験しながら子どもの実態に沿った指導案について考える。	事前学習	模擬授業で扱う曲(音楽づくり)について教材研究をする。
		事後学習	音楽づくりの指導法について理解する。
第9回	学習指導案の作成、グループ活動③〔鑑賞指導〕実際に鑑賞活動を経験しながら、子どもの実態に沿った指導案を作成する。	事前学習	模擬授業で扱う曲(鑑賞)について教材研究をする。
		事後学習	鑑賞活動の指導法について理解する。
第10回	学習指導案の検討、グループ活動④学習指導案の書き方と模擬授業の進め方について理解する。	事前学習	教科書の該当箇所を読んでおく。
		事後学習	グループごとに学習指導案を作成する。
第11回	模擬授業の実践と振り返り〔歌唱活動〕:教師役、児童役として模擬授業を体験する。その後振り返りを行う。	事前学習	教材研究をして指導案を作成する。模擬授業の準備をしておく。
		事後学習	模擬授業を振り返り、反省点をまとめる。
第12回	模擬授業の実践と振り返り〔器楽活動〕:教師役、児童役として模擬授業を体験する。その後振り返りを行う。	事前学習	教材研究をして指導案を作成する。模擬授業の準備をしておく。
		事後学習	模擬授業を振り返り、反省点をまとめる。
第13回	模擬授業の実践と振り返り〔音楽づくり〕:教師役・児童役として模擬授業を体験する。その後振り返りを行う。	事前学習	教材研究をして指導案を作成する。模擬授業の準備をしておく。
		事後学習	模擬授業を振り返り、反省点をまとめる。
第14回	模擬授業の実践と振り返り〔鑑賞活動〕:教師役・児童役として模擬授業を体験する。その後振り返りを行う。	事前学習	教材研究をして指導案を作成する。模擬授業の準備をしておく。
		事後学習	模擬授業を振り返り、反省点をまとめる。
第15回	本授業のまとめと今後について。	事前学習	これまで授業で学んだことを復習する。
		事後学習	これまでの模擬授業を振り返り、反省点をまとめる。
期末試験			